

平成31年度制度・予算 に関する重点要望項目

スポーツ庁関係

公益社団法人 日本歯科医師会

◎東京オリンピック・パラリンピックを支援する スポーツ歯科の普及促進（参考1～2）

東京オリンピック・パラリンピックにおける選手等への歯科治療や口腔健康管理及びスポーツマウスガードの提供等を円滑に実施するための予算措置

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本歯科医師会は東京都歯科医師会と共に歯科の統一窓口となるヘッドオフィスを設置し、さらに競技開催地に当たる地域の歯科医師会や各関係機関による委員会等で、情報共有を図り準備を進めています。

さらに今後も国民スポーツを下支えするスポーツ歯科の普及促進のために、上記の事項について要望します。

スポーツを支援する歯科の役割

1 歯科医師の立場から、スポーツを行う者に対する健康・安全づくりの支援と競技力の維持・向上の支援。

2 歯科口腔領域のスポーツ外傷・障害に対する予防、診断、リハビリテーションなど。

3 競技会等の医事運営の支援並びにチームデンティストとしての参加。

4 スポーツ歯科医学の研究、教育、普及活動。

5 その他、上記に準ずる必要な事項。

東京オリ・パラサポート体制(イメージ)

(公・財)東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会
組織委員会担当者

競技団体(サポート歯科医師不在)

サポート要請事務連絡

東京オリ・パラサポート ヘッドオフィス

構成 担当:都歯担当役員・日歯担当役員 事務機能:都歯事務局

歯科医師協力要請

協議要請

運営実務委託

競技開催県歯科医師会

東京オリ・パラ歯科委員会(仮称)

ポリクリニック運営委員会